



つゞじヶ丘だより東京

つゞじヶ丘同窓会東京支部会報



発行 函館西高等学校つゞじヶ丘同窓会東京支部 会長 佐々木 太郎
 〒136-0072 東京都江東区大島 8-41-15-215 TEL&FAX 03-5609-9881
 メールアドレス jimud-tokyo.com
 印刷所 株式会社 サンビプロダクトセンター 題字 細見 紀子(14 回生)

<東京支部設立 30 周年記念>

創立 110 周年に向けて

函館西高等学校長

堂下 則昭



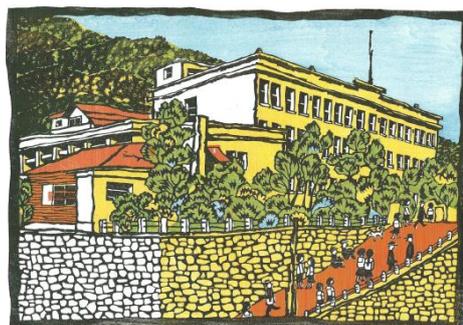
て多大なるご協力をいただき有り難うございます。
 生徒たちは、今も昔も変わるこ
 となく、雨の日も風の日も八幡坂
 を上って登校し、校訓「志高く」
 のもと、学習に部活動にと充実し
 た高校生活を送っています。



現在の函館西高校舎

卒業式 以来、
 3 万 8 千 5 百 8 5 名
 の卒業生が
 巣立ったま
 なり

3 月 1 日には、函館西高等学校
 第 65 回卒業式で 155 名が希望に胸
 ふくらませ巣立ちました。明治 42
 年 3 月の函館高等女学校第 1 回



60 年以上前の校舎

しました。高文連は、全国高文祭、大城会写真部
 2 門で

す。
 進路状況については、進学では
 国立大学に 14 名が合格、就職で
 も外務省職員（国家公務員）に採
 用されるなど、3 年間の地道な努
 力が進路実現につながっています。
 平成 24 年度から 3 年間にわた
 り道教委の指定を受けて研究を推
 進してきました「キャリア教育・職
 業教育推進事業」では、「大学生や
 社会人との座談会形式での対話集
 会」や「地元企業研究」、地元大学
 教授による「出前講義」など様々
 な取り組みを通して、生徒は進学
 や就職に対する意識とともに学習
 意欲も高まり、自己実現へつなが
 った要因の一つであると考えています。
 同時に部活動などでもめざましい活躍が見られました。高体
 連では女子バレーボール部が支部
 3 連覇、秋季大会では卓球女子ダ
 ブルスで 27 年ぶりの優勝を果た



開校時の北海道庁立函館高等女学校

年生の建部糸音さんが「奨励賞」を
 受賞。北海道学生書道展では 1 年
 生の若山翔君が特別賞（北海道新
 聞社賞）を受賞するなど、運動部、
 文化部の多くが全道大会への出場
 を果たしました。

明治 38 年、北海道庁立函館高等
 女学校が開校され、その後、昭和
 23 年に北海道函館女子高等学校
 と改称、さらに昭和 25 年に男女共
 学の学校として発足した北海道函
 館西高等学校が、今年、創立 110 周
 年を迎えます。祈念式典は、平成
 27 年 10 月 3 日（土）に函館市民
 会館で、祝賀会は五島軒本館で行
 われます。同窓会の皆様には協賛
 会事業において、様々なご協力を
 お願いすることになりますが、何
 卒よろしくお願いいたします。

『あれから四年と 三〇年と一一〇年』

東京支部会長 佐々木太郎



東日本大震災から満4年がたちました。平成23年、第14回東京支部総会

の案内を発送した直後に大地震が襲ったのです。それまで幹事回生の持ち回りで開催されていた総会を、はじめて事務局の直轄による開催とし、目白の椿山荘で開催することになり、皆張り切っていました。

地震の後、北は北海道から南は千葉まで、太平洋沿岸を縦なめにした大津波がきて、犠牲者のほとんどは東北地方を襲った津波による被害でした。故郷函館でも津波による死者1名と報じられました。ところが地震被害はそれで収まらず、翌日電源を喪失した福島原発の建屋が水素爆発を起こし、放射能が各地に飛び散りました。東京でも水道水から放射能が検出され、ペットボトル入りの水は

すぐにコンビニやスーパーの棚からなくなりました。今まで聞いたこともないベクレルとかシーベルトの数字がニュースに踊っておりました。避難を余儀なくされた方々がおられ、いまだに故郷へ戻れない人たちも沢山います。

放射能に対する警戒は外国人の方が強く、日本から続々と海外へ避難していきました。いつも同窓会の事務局会議をしている場所の近くに、おいしい中華料理屋さんがあるのですが、そのオーナーも店を閉めて中国へ帰ってしまいました。私の友人でも家族を京都に疎開させた人もいました。このような中で、はたして総会



を開催できるだろうか、またすべきかどうか、事務局で集まりけんけんがくがく議論をしました。そのときすでに多数の出席の返信はがきが事務局に届いておりましたし、日々出席回答が増えてきておりましたので、とにかくやってみようということになりました。

震災被害者に対する黙祷を式の最初におき、会場に義援金箱を用意するなどそれなりの配慮はしましたが、200名を超える出席者が集い、5月にしては汗ばむような陽気の中、談笑のひと時を過ごすことができました。また、義捐金も約11万3千円集まり、日本赤十字社に寄付をさせていただきました。

それから4年、つゝじヶ丘同窓会東京支部は発足して今年で満30年を迎えます。当時東京で活発に活動していた庁立高女の同窓会に、西高の同窓生が参加する形で昭和60年に発足した東京支部ですが、それから2年に一度総会を開催し、今年で第16回の開催にこぎつきました。しかし、30年というとほぼ一世代にあたる時がたち、かつて総会・懇親会には300人以上の同窓生が出席し、その主力だった高女世代の出席者は、高齢化とともに全体の1割を切るようになりまして。かといって若い人たちがそう増えたわけでもない中で、この同窓会は会員の皆様の

サポートのおかげで、健気に頑張っております。私は、都内で開催されるラ・サールや中部など他の高校の東京同窓会に時々出席しておりますが、それらの同窓会に比べてもわが高校の同窓会は引けをとらない活動をしていると自負しております。



新函館北斗駅に走行試験で入線する北海道新幹線

今年には北陸新幹線が開業しましたが、来年3月には北海道新幹線がいよいよ開業します。日本全体の人口減少と高齢化の中で、地方創生が叫ばれる時代に、東京支部も近くなるふるさとと創立110周年を迎える母校のために、何かお役に立てることがあればお手伝いしたいと願っております。

第 16 回 つゝじヶ丘同窓会東京支部総会・懇親会式次第

開催日 平成 27 年 5 月 16 日(土曜日)

時間 12 時 00 分 ~ 15 時 00 分

場所 椿山荘 4F ジュピター

司 会 学年副幹事長 佐藤 雅英(18 回生)

— 総 会 —

- ・開会宣言
- ・物故者黙祷
- ・活動報告

副会長 高橋 順吉(17)

司 会

学年幹事長 竹澤 秀明(17)

— 懇親会 —

- ・会長挨拶
- ・来賓紹介
- ・来賓挨拶
- ・乾 杯

会 長 佐々木 太郎(14)

司 会

つゝじヶ丘同窓会本部

会 長 中山 浩一 様

函館西高等学校

校 長 堂下 則昭 様

< 歓 談 >

- ・アトラクション

ギター演奏

市野 修一(17)とその仲間

全 員

- ・函館港踊り
- ・校歌斉唱(高女・西高)
- ・応援歌
- ・閉会挨拶

歌唱指導 青木 保(21)・河野 隆子(23)

東京支部応援団有志

学年幹事長 竹澤 秀明(17)

北海道庁立函館高等学校校歌

一、巴の港朝夕に

出で入る船の帆柱の
しげき学のかずかずは
世の海渡るみおつくし
教のまにまに艱苦にたえて
真心厚き女子(おみな)とならん

二、春は湯の川リリーつみ

秋は大沼舟遊び
冬は四方山白雪の
玉もてかざる銀世界
自然の靈氣を我身にうけて
清き操の女子(おみな)とならん



北海道函館西高等学校校歌

一、春は弥生の草萌えて

つづじヶ丘に花咲けば
流るる空の雲は淡し
向学の友群れてここに
集えり ああ君 われら若く
自由の鐘の音 窓に鳴れば
情操をたもちて 共に立てよ

二、北の港の丘のもと

巴の海に新潮の
岬をめぐる声はひびく
向学の友群れてここに
集えり ああ君 われら若く
希望は生まれて 胸にみてば
大志をいだきて 共に立てよ

三、秋は臥牛の松の風

栄枯の夢を歌えども
北斗の影は天にかかる
向学の友群れてここに
集えり ああ君 われら若く
ひとみは冴えたり いよよ深く
真理を求めて 共に立てよ

北海道函館西高等学校校応援歌 No. 2

一、臥牛山麓 風荒く

怒濤逆巻き 狂うとも
たゆまぬ健児が 血と汗の
日頃の力を示すは今
おお おお 我等が選手
我等が選手 今ぞいけ

二、つづじヶ丘の西高に

試練重ねし 幾星霜
母校の名誉は 双肩にあり
勝利は常に 我にあり
おお おお 我等が選手
我等が選手 今ぞいけ



第 16 回総会・懇親会
出席者一覽

【御来賓】(敬称略)

・函館西高等学校校長 堂下 則昭
・つゝじヶ丘同窓会本部会長 中山 浩

一(9) 副会長 小林 敏夫(15)

事務局 石井勝(24)

・関西支部副会長 橋本 輝也(5)

・白楊ヶ丘同窓会東京支部支部長

安田 康次

・関東青雲同窓会会長 新山 春一

幹事長 横井透

・東京函商同窓会会長 汐谷 進

・函工同窓会関東支部監事 越野 徹

・函館ラ・サール学園同窓会東京支部

顧問 植木 清三郎

【会 員】(同回生はクラス順)

* 4 月 30 日現在

高女 32 照井 陽子。

高女 37 染木 トシ、田植 諒子、鳥

本 玲子、柿崎 ケイ。

高女 38 小西 弥生。

高女 41 相馬 洋子、金子 綾子。

女高 2 中村 トク子、成田 慶子、

吉元 芳子、高木 清子(旧

姓 山田)、高木 清子(旧姓

服部)、相馬 佳代、荒木 和

子、小平 かの、金丸 美佐

西高 1 子、上原 佑子。
新谷 義克、茂木 誠子、松
本 洋子。

西高 2 賀川 勢津子、廣瀬 和也、
納代 鉄也、安田 千恵子、
松田 守正、木村 雅子。

西高 3 橋本 力、山村 勉、柴田
祐治、長澤 清司、望月 晴
夫、高橋 幸夫、徳田 安
正。

西高 4 宮崎 繁、本間 弥四郎、柴
田 哲夫、木寺 章、郷内 繁、
山崎 精一。

西高 5 藤代 力ヨ子、菅原 洋一、
岸 朱美、八木 浩子、関谷
幸子、塚本 睦子、長澤 慎
二、粕谷 陽子、佐藤 光子、
臼井 佳代。

西高 6 笠川 雅彦、時田 八郎、鈴
木 靖、塚本 善夫、東郷
豊。

西高 7 土井 功、井村 司。
西高 8 米田 紀子。

西高 9 大谷 長弘、本田 啓、徳田
紀美子、秋山 克彦、森 英
爾、中村 紀之、根上 紀代
子、北川 佳子。

西高 10 高見 康夫、福井 達郎、小
嶋 俊昭、桜川 薫子、徳永
豊吉、松本 信男、村田 千
佐子。

西高 11 植木 清明、岩尾 紘一、石
塚 茂、深江 雅子、若林 英
毅、新井 眞沙子、石橋 洋
嗣。

西高 12 秋山 重子、小川 正典、伊

西高 13 藤 諠、鈴木 隆昌、尾崎 和
彦、井上 豊、時田 敦子。
木村 禧夫、布施 謙一、草
皆 洋子、根本 弘子、金谷
忠勝、長津 俊、高野 教子、
森 加代子、堀口 六壽、佐
藤 芙佐子、広田 悦子、三
村 寿雄、岡部 幸昭、坂本
幹男、炭田 美規子、小玉
正義、加藤 蓉子、斉藤 勝
美、小越 勇、大久保 吉郎、
村井 和代、伊藤 昭夫、森
越 勝、笹谷 邦紀、木嶋
祥子、中山 悦子、白石 一
恵、花木 瞳、古澤 マサ子、
藤田 静子、伊藤 孝子、松
本 之恵。

西高 14 佐々木 太郎、堀内 洋子、
加藤 秀勝、新野 繁信、竹
森 利則、稲田 一郎、若林
郁雄、洞田 雅子、津澤 和
範、田端 冴子、原田 吉隆、
吉見 芳彦、辰村 新平、中
村 宏子、岩川 孝夫。

西高 15 木村 隆夫、田辺 美彩子、
酒田 幸男。

西高 16 中山 栄二、猪 しまこ、滝
口 清、佐々木 次郎。

西高 17 大西 裕子、山崎 雅司、後
藤 優子、斎藤 光子、池永
敏信、林 道子、藪 道子、
櫻田 俊行、榎 房子、紺谷
留美、工藤 純一、高橋 俊
和、高橋 信一、佐藤 幸子、
高橋 順吉、谷杉 栄策、佐
藤 俊一、竹澤 秀明、市野

西高 18 藤 諠、鈴木 隆昌、尾崎 和
彦、井上 豊、時田 敦子。
木村 禧夫、布施 謙一、草
皆 洋子、根本 弘子、金谷
忠勝、長津 俊、高野 教子、
森 加代子、堀口 六壽、佐
藤 芙佐子、広田 悦子、三
村 寿雄、岡部 幸昭、坂本
幹男、炭田 美規子、小玉
正義、加藤 蓉子、斉藤 勝
美、小越 勇、大久保 吉郎、
村井 和代、伊藤 昭夫、森
越 勝、笹谷 邦紀、木嶋
祥子、中山 悦子、白石 一
恵、花木 瞳、古澤 マサ子、
藤田 静子、伊藤 孝子、松
本 之恵。

西高 19 加藤 文比古、川瀬 俊吉、
原島 邦子、井上 善子、斎
藤 映二、藤谷 敏雄、渡辺
千里、種井 三喜男。

西高 20 片桐 信行、加藤 理知子、
高村 亨、乙川 治美、高木
智宏、二階堂 功、井田 幸
子、松田 陽一、福島 春美、
加藤 貞子、牛田 欣也、板
垣 成人、東出 龍治、大友
理 映子。

西高 21 石塚 和夫、中村 晴美、青
木 保、平 智則。

西高 22 根本 修、武石 義正、大谷
雅彦。

西高 23 西山 和子、河野 隆子。
西高 24 茂木 信悦、小林 多美、佐
藤 好正、野口 孝子、佐々
木 雄治、中野 恵子、関口
信也、京極 信良、福田 康
典。

西高 25 野口 卓史。
西高 27 中川 喜久則。
西高 31 長谷川 好広、佐々木 雅子、
山越 准司。

西高 18 修一、岩片 文子、鴻池 佳
衣子、境 和子。
折田 信一、浜 勝信、中川
隆、佐々木 進一、佐藤 雅
英、馬場 政平、竹田 光男、
松田 邦男、黒澤 潤一、菊
地 讓次、花田 貴宣、吉田
厚、安原 秀樹、岩倉 高志、
三浦 正樹、渡辺 讓二、伊
藤 愛子、岩瀬 友子、水上
幸江。

西高 19 加藤 文比古、川瀬 俊吉、
原島 邦子、井上 善子、斎
藤 映二、藤谷 敏雄、渡辺
千里、種井 三喜男。

西高 20 片桐 信行、加藤 理知子、
高村 亨、乙川 治美、高木
智宏、二階堂 功、井田 幸
子、松田 陽一、福島 春美、
加藤 貞子、牛田 欣也、板
垣 成人、東出 龍治、大友
理 映子。

西高 21 石塚 和夫、中村 晴美、青
木 保、平 智則。

西高 22 根本 修、武石 義正、大谷
雅彦。

西高 23 西山 和子、河野 隆子。
西高 24 茂木 信悦、小林 多美、佐
藤 好正、野口 孝子、佐々
木 雄治、中野 恵子、関口
信也、京極 信良、福田 康
典。

西高 25 野口 卓史。
西高 27 中川 喜久則。
西高 31 長谷川 好広、佐々木 雅子、
山越 准司。

西高 12 秋山 重子、小川 正典、伊

西高 11 植木 清明、岩尾 紘一、石
塚 茂、深江 雅子、若林 英
毅、新井 眞沙子、石橋 洋
嗣。

西高 10 高見 康夫、福井 達郎、小
嶋 俊昭、桜川 薫子、徳永
豊吉、松本 信男、村田 千
佐子。

西高 9 大谷 長弘、本田 啓、徳田
紀美子、秋山 克彦、森 英
爾、中村 紀之、根上 紀代
子、北川 佳子。

西高 8 米田 紀子。
西高 7 土井 功、井村 司。

西高 6 笠川 雅彦、時田 八郎、鈴
木 靖、塚本 善夫、東郷
豊。

西高 5 藤代 力ヨ子、菅原 洋一、
岸 朱美、八木 浩子、関谷
幸子、塚本 睦子、長澤 慎
二、粕谷 陽子、佐藤 光子、
臼井 佳代。

欠席者からのメッセージ

◎ 返信葉書より

* 4 月 30 日までに欠席のご連絡を頂いた方々のメッセージです。

鈴木 美代 (高女 30) 母、療養中
為欠席致します。(娘さんより)
浅岡 文子 (高女 31) ご盛会を祈ります。

永井 たか (高女 34) 何時も大変お世話様になっております。有難うございます。年令になり元氣ですが高齡の為欠席させていただきます。

三野 タケ (高女 34) 老化が進み一人で外出できない状態です。

石垣 涼子 (高女 34) 御案内ありがとう御座いました。今年は何えらと思つて居りましたら翌日から函館に行く事になって居りますので残念です。御盛会御祈りしております。
森 アイ子 (高女 35) 当日は他の会と重なり残念ですが出席することが出来ません。

戸田 ヤイ子 (高女 36) 足が不自由となり外出できませんので残念ながら、欠席させて頂きます。

江口 和子 (高女 36) 前回は大腿骨骨折で欠席しましたので今回こそは学校の思い出や懐かしい函館の



雰囲気を味わいたく出席したいと思つて居りましたが現在少しは歩ける様になりましたものまだ無理の様で、残念ながら欠席とさせていただきます。ご盛会をお祈り申し上げます。
高田 澄子 (高女 36) 毎日元氣で仕事しております。
塚本 ひろ (高女 37) 娘の近くのホームへ入居しました。高女時代の友人が多く友情に深く感謝して居ります。
阿部 久子 (高女 38) 昭和 19 年に転校しておりますので完全な卒業生とは云えません。
門田 ミチ (高女 38) 週二回デイへ月一回息子に付き添つてもらい検診に行つています。足が弱くなりま

白幡 榮子 (高女 38) 残念ながら歩行困難(車いすの生活の為)出席不可能。皆様によりしくお伝え下さいませ。

鈴木 八重子 (高女 39) ご活躍を感謝しています。1930 年 1 月生まれます。お陰さまで元氣にくらしています。

下村 京子 (高女 40) 87 歳、畑仕事等した覚えがありますが・・・思ひ出せずごめんなさい。

野村 幹子 (高女 41) 体調不良のため欠席させていただきます。

鈴木 栄子 (女子 1) 他の会と重なりますので残念ながら欠席致します。

佐賀 陽子 (女子 2) 出席したいと思つていたのですが主人の体調がすぐれないもので残念ながら欠席とさせていただきます。御盛会をお祈りします。

田村 絢子 (女子 2) ご盛会をお祈り致します。

沼澤 信子 (西 1) ご案内有難うございます。ご盛会をお祈り申し上げます。

石神 宗光 (西 1) テニスと登山はドクターストップ、ゴルフはレディースからやつとこです。

坂井 敏克 (西 1) 盛会を祈ります。

太田 良子 (西 1) 都度のご案内ありがとうございます。人の為自分の為と思ひボランティアを続けて居ります。都合で欠席致します。幹事の皆様末永くよろしくお祈り致します。

田中 直子 (西 1) 元氣にやつてます。

菅原 靖 (西 1) 身体的都合により欠席します。

増谷 純雄 (西 2) 現在先の大戦でなくなられた人間魚雷回天慰霊祭を手伝つている。藤沢周平文学愛好会の文学の旅を企画している。

北島 松太郎 (西 2) 体調すぐれず欠席します。

畑中 誠治 (西 2) 元氣です。都合により欠席ですが出席の皆様方によりしく御伝え下さい。

小滝 裕子 (西 2) 用事があり出席できません。皆様によりしく。

田中 東子 (西 2) 体調が悪いので欠席させていただきます。

米光 啓弥 (西 3) 昨年 9 月に亡くなりました。生前お世話になり有難うございました。(奥様より)

菊池 不二子 (西 3) ご連絡ありがとうございます。ご盛会をお祈り申し上げます。

原 加代子 (西 3) 皆様にお世話になっております。これからもよろしくお祈りします。

清水 和子 (西 3) いつもご連絡いただきまして有難うございます。残念ながら長時間家を留守することが出来ませんので欠席させていただきます。高齢者が介護して居ります。

小島 将 (西 3) 年とともに体力・氣力の衰えを感じるようになりましたが、おかげさまでまずは平凡な日々を過ごして居ります。皆様様の

益々のご健康をお祈りいたします。
中野陽子 (西 3) 個人的な事ですが美声の買手様、田脇様(旧姓)の歌が聴きたいです。お元気な事を祈ります。

阿部英一 (西 4) 都合により欠席させていただきます。

佐藤慶子 (西 4) 毎回主席出来そうでお知らせ等辞退させて頂きたくお願い申し上げます。お世話係の方には大変ご苦勞の多い事と存じますが・・・

高橋秀演 (西 4) 西高 29 東京支部会には欠かさず参加し楽しんでます。6 月の傘寿会には函館に行く準備して居ります。

安田弥寿彦 (西 4) 皆様 80 才を目の前にどうぞお達者に！

峯岸四四子 (西 5) 体調悪く欠席します。申し訳ありません。

小林幸子 (西 5) コーラスやったり音楽会に行ったり元気に暮らしています。

片山宏 (西 5) 五体健全状態で人生を味わいつつあり。先々年、北島三郎氏の引退番組を NHK テレビにて観て落胆す。余はモーツァルトのレクイエムを合唱中に一団員成せんと欲す。

舞台上に生命尽くるはこれ本望也。
川崎かをる (西 6) 同期生、諸先輩にお会いしたいものですが残念ながら、状況出来ません。祈ご盛会！(高岡市)

川崎庄司 (西 6) 元気で過ごして



居りますが、当日は地元の会合とバツテングしてしまい欠席です。幹事の皆様ご苦勞様です。盛会を祈ります。

高橋宏子 (西 6) 足に不安が出てきておりますので欠席させて頂きます。

尾島由紀 (西 6) 幸い函館は色々なテレビ番組で見ることが出来るのですが、先日の BS 朝日「にほん風景物語・石川啄木若き天才が愛した函館」はとても楽しめました。皆様のご健康とご多幸をお祈り致しております。

滝沢輝明 (西 6) 週三日、デイサービスに通所しています。

東谷正幸 (西 7) 今回は欠席とさせて頂きたくしますが、次回は非出席したいと思えます。

飯田剛一 (西 7) 都合が付かず欠席します。ご盛会を祈り上げます。

入村恭介 (西 8) 7 年間食道がんの治療中、抗がん剤の副作用に悩まされています。盛会を祈念します。
藤川和恵 (西 9) いつも連絡有難うございます。いつか出席出来る日を楽しみにしております。

三上和彦 (西 9) 残念ながら、その当日仕事が入っているので・・・申し訳ありません。

鴛田典子 (西 9) 旅行に行く事に成っておりますので申し訳ありませんが欠席させていただきます。

藤井弘子 (西 9) いつもご連絡ありがとうございます。旅行で 1 週間位出掛けるのは良いのですが、一日がかりで東京に出かけるのがおっくうになってしまい横浜ばかりウロウロしています。困ったもんです！

葛西義純 (西 9) 都合がつかず、欠席します。

松下靖子 (西 9) いつも欠席で申し訳ございません。東京支部の会長様はじめ御世話役の皆様のご苦勞に感謝しております。

倉橋秀俊 (西 10) 来年、新幹線で訪函したい！？

西山俊子 (西 10) 今回も法事と重なり関西に出かける予定です。元気で東奔西走しています。

三浦和子 (西 10) 秋のサンゴ会には出席出来るよう頑張ります。

中井敬子 (西 11) みな様によろしくお伝え下さい。

今谷功義 (西 11) 皆様も無理せず御自愛ください。8 年前に手術した脊椎管狭窄症の合併症あり、東洋医

学の気功で治療しています。
上村陽子 (西 11) 毎年帰函している時期とかさなりました。

松田勢彌子 (西 11) いつもお世話様です。ありがとうございます。

藤田旗江 (西 11) ご連絡いただき有難うございます。70 才を過ぎ益々健康に気を付け仕事&運動を続けております。皆様のご健康をお祈りしております。

田沢義武 (西 11) すみません。欠席させてもらいます。ご苦勞様です。技術伝承が思うに委せず会社で土・日も出勤で教育しています。

菅原靖夫 (西 11) 都合が悪く出席できません。

田口道子 (西 11) ご案内頂き有難うございます。当日は都合により欠席させていただきます。日々元気に過ごして居ります。

越野誠 (西 11) 当日は昨年からの予定が入っており、残念ですが欠席させていただきます。

岸田信高 (西 11) ケニアより 4 月 8 日に帰国、左脚のかかと骨折の為手術で 5 月 15 日が手術日の為出席する予定でしたが残念、若林君によりしく。

神田敢司 (西 11) 遅くなって申し訳ありません。

東正則 (西 12) せっかくのご案内にも拘わらず欠席で申し訳ありません。

三好美智子 (西 12) 西高で学んだ 3 年間は友情、夢を育み現在の私の生き方に継がっています。ありがと

う！
西山 弘子（西 12）残念ながら欠席致します。ご盛会をお祈り致します。
岡田 修二（西 12）ご案内有難うございました。ご盛会をお祈りいたします。
中嶋 恵子（西 13）五月は行事がいろいろ重なりまして残念ですが出席できません。東京の皆様と笑顔で函館にてお会い出来る事を楽しみにしております（札幌）
小川 美代子（西 13）20 年振りに出席してみたいと思つて居りましたが、所用のため出席出来ず残念です（札幌）
中川 啓（西 13）体調不良に付き長距離の旅行ができそうにありません。38 の皆さん ゴメン!!!
山崎 和雄（西 13）お世話頂きありがとうございます。自治会の仕事と重なり出席できません。
石川 増子（西 13）土曜日は仕事なので残念ながら出席できません。
木谷 勝子（西 13）事務局の皆様にはいつも有難うございます。義姉の手術の日と重なり欠席させていただきます。
川崎 正行（西 14）皆様のご健康をお祈り申し上げます。
鳴海 敏子（西 14）北海道を離れて今年で 44 年になります。長崎・千葉・東京での生活を経て今、横浜で元気に頑張っております。
高橋 さと子（西 14）お世話様です。
山崎 陽子（西 14）3 年前の右股関節手術に続き、左股関節も症状が悪

化して来ました。出席の皆様方によりしくお伝え下さい。
佐々木 一博（西 14）仕事の為欠席です。二次会に参加します。
細見 紀子（西 14）他の行事と重なり、やむを得ず欠席いたします。幹事の方には申し訳ありません。
木津 則子（西 14）残念ながら欠席させて頂きます。盛会を祈念致します。
若松 伸司・明子（西 14）松山・東京・筑波を行ったり来たりしておりますが、来年 4 月には筑波に戻る予定です。
峯 瞳（西 16）都合悪く欠席します。
夏井 秀夫（西 16）ご苦労様です。
中川 孜（西 16）孫 3 人（9 才、3 才、1 才）と遊ぶのが楽しみな毎日です。ゴルフなど運動とはすっかり疎遠になってしまいました。
石田 修（西 16）皆様によりしくお伝え下さい。
若松 築子（西 16）御苦労様です。残念ながら出席できません。宜しく願ひ致します。
長屋 恵子（西 16）要介護 5 の母を見ています。土・日はショートステイがいつぱいで利用できません、その為出席できません。皆様に宜しくお伝え下さい。
八重島 智子（西 16）ご連絡ありがとうございます。
北道 博子（西 17）当日 用事があり出席できませんが、盛会をお祈り致します。
大瀧 敏子（西 17）椿山荘での同窓

会 今回こそ出席をと望んで居りましたが、東京は遠くなかなか参加出来ず健康で居ればいざれ東京支部同窓会へ必ず行こうと思つています!!（函館）
従二元久（西 18）所要あり欠席いたします。
茅原 青子（西 18）いつもご連絡有難うございます。今回欠席させて頂きます。皆様に宜しくお伝え下さい。
河野 真利子（西 18）昨年 10 月 18 日にし会へ出席し楽しい一時でしたが、創立 110 周年を迎える西高の在籍数が減り心配です。
久保 真理子（西 19）何時もご連絡戴き有難うございます。御礼申し上げます。
平田 芳明（西 19）団地管理組合の行事と重なり参加出来ません。



山田 義和（西 19）申し訳ありません。都合により欠席いたします。
北島 庸子（西 19）御案内ありがとうございます。
白崎 豪（西 19）皆様によりしく。
眞鍋 宗孝（西 20）法事の為 残念ながら欠席と致します。
桜井 雅幸（西 20）5 月 15 日実家にて法事のため帰省中です。皆さんによりしく!
砂戸 淳一（西 21）仕事（出張）でいない為欠席します。
岸田 知也（西 21）仕事の都合で行けません。すみません。
武内 洋美（西 23）この日は母の介護で函館に滞在しております。とても残念です。皆様に宜しくお伝え下さいませ。（旧姓阿部）
菊池 浩行（西 24）盛会をお祈り致します。
小林 正昭（西 25）5 月 10 日前後から 20 日ぐらいの間中国・上海で展示会出展のため出席できなく残念です。
山本 睦子（西 27）毎回の準備ありがとうございます。御盛会をお祈り致します。
岩田 美穂（西 27）町田市に引越して 13 年になります。
土矢 一如（西 31）会に出席できず申し訳ございません。
館田 智恵美（西 33）帰省は函館のハーフマラソン大会に合わせています。2016 年は北海道新幹線開業記念として、フルマラソン開催。帰省する楽しみが増えます。

特集 特別寄稿(一)

私の函館時代

詩人 麻生 直子 (10 回生)

三月中旬に、中学から高校二年迄
住んだ江差に行った。如月の(たば
風祭り)、弥生の(雛祭り)という
行事で、講演会場の町会所でも、各
地から贈られた雛壇の雛人形が、所
狭しと飾られていた。そのなかで、
季刊文芸誌『江さし草』54号から153
号(続刊中)まで、約二十五年に渡
って寄稿した巻頭詩を中心に「我が
青春の江差」を面映ゆく語った。

奥尻島生まれの私にとって、小卒
後、五年間住んだ江差は、第二のふる
さとである。また十二歳年上の兄
が、母と私を島から呼び寄せてくれ
て、初めて親子三人が一緒に暮らし
た町でもある。その兄の転勤にとも
ない、江差高校から函館西高三年生
に編入したのは一九五九年。一学年
で八組まであり、驚いた記憶がある。
翌年、卒業して間もなく、兄の反
対を押し切って上京した。そのため、
級友の顔も名も多くは覚えられず、
いまでも西高の卒業生ですとは言
い難い。けれども、函館での一年間
は楽しい日々であった。私は、文芸

部に入部。文芸部誌『氷木』に詩と
短編小説を書いた。やがてその小説
を、放送部でドラマ化し、二日連続
の校内放送。

転校生の私は、昼休みの屋上で、
独り函館の街を眺めながら、それを
聞いた。自分の存在が、多少は認め
られたように感じた。

かの有名な佐藤泰志は、一九六五
年に入部。文芸部に入り、『氷木』24
号に「退学処分」を書き、第四回有
島青少年文芸賞優秀賞を受賞。「青
春の記憶」や「市街戦の中のジャズ
メン」も、在学中に発表している。
恐るべしである。

私は、兄が結婚し、家計を握る義
姉から昼食代にパン代を貰うと、そ
の半分は文房具や原稿用紙を買い、
昼休みや放課後は図書室で過ごし
た。世界文学を理解するには、聖書
を学ばなければならぬと思い、カ
トリック教会の木曜教室にも通っ
てみた。函館の街は、何処を歩いて
も、小説の主人公のような気分にな
る。当時、映画のロケも多くあった。

六月の夜のゆるやかな坂道を
新婚の兄と義姉が歩いていく

霧のような花明りがふたりをまよい

少し離れて歩く 高校三年生の私がい

ていましたが函館港近くのHBCホールで

聴いてきた「新世界」が

薄い胸の奥で東京へと波立っていた

物音ひとつしない末広町の
五軒長屋の午後

足を忍ばせて二階への階段をのぼり

兄の本棚のすみにある大学ノートを開い
た日

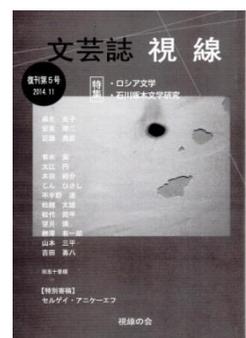
「耳の不自由な母とたった一人の妹を
自分は生涯守っていく」

そんな日記の一行が雷鳴のように轟き
私は号泣したのだった

(「兄の日記」部分)

引用の詩は、一昨年、函館で発行
されている文芸誌・復刊『視線』4
号の掲載作品。編集発行人の和田裕
氏の御好意で、詩やエッセイを書き、
西高卒業以来、五十年余りの時を経
て、函館の文芸誌と繋がったのだ。
さらに、「FMいるか」での朗読
依頼や、中央図書館で(函館朗読奉
仕会)主催の詩の朗読会にも招かれ
た。

1993年の北海道南西沖地震の追悼
詩「憶えていてください」は、二年
後に佐々木茂氏の作曲で、函館MB



混声合唱団により市民会館で初演された。その後、



奥尻町の追悼式や札の演奏会にも合唱している。

いつも函館経由で奥尻、江差、乙
部に行く用事が多いが、最近では函館
で過ごす愉しみも増えている。

父親違いだった兄や母はずでに
亡くなったが、末広町の五軒長屋は、
老朽化を耐えて今でも建っている。

今年四月に『詩人 麻生直子の世
界―島と祈り』丸山由美子著(梧桐
書院)が発行された。詩的評伝で、
遂に私も今後を覚悟せねばと思う。

あの長屋を出入りした好奇心旺盛
な独りの西高生の行方や、ゆかり
の作家たちを追って(私の函館時
代)はこれから始めたい。

*《ウイキペディアより》(あそうな
おこ、1941年12月16日) 詩人。北
海道奥尻島生まれ。函館西高等学校卒
業。日本現代詩人会、日本文藝家協会、
潮流詩派の会、所属。全国詩誌『詩と
思想』(土曜美術社出版販売)の編集委
員、日本現代詩人会の「H氏賞」(現
代詩人賞)選考委員などを歴任。2007年
詩集『足形のレリーフ』で第40回日
本詩人クラブ賞を受賞。(本
名 村田 千
佐子)



本詩人クラブ賞を受賞。(本
名 村田 千
佐子)

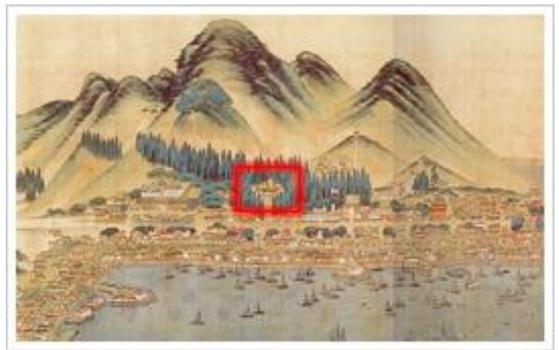
特集 特別寄稿(二)

作家、森真沙子さん(本名 深江雅子)は、西高11回生。1979年に文壇デビューを飾り、代表作の『日本橋物語』(全10巻、二見時代小説文庫)をはじめ、時代小説やミステリー小説などで活躍を続けています。最新作『箱館奉行所始末』は、幕末の箱館を舞台にした小説で、「同窓生必読の書」といっても過言ではありません。二見時代小説文庫(二見書房刊)から、これまでに全3巻(2015年4月2日現在)が発売されています。今回、会報に自作について一文を寄せていただきました。(編集部 井田ゆき子)

『箱館奉行所』をめぐる、正直な話

作家 森 真沙子 (11回生)

歴史時代小説『箱館奉行所始末』を3巻まで書いてみて、驚いたことがある。「函館にも奉行所があったんですか?」とよく訊かれたことで、正直な話、箱館奉行所ってよほど知ら



文久年間(1862年頃)の函館の絵図。赤で囲んだ所に箱館奉行所があった模様。

れていないんだ、と実感させられたいや、驚くにはあたらなないか。私自身、函館に二十年以上住み、小中、高とも旧奉行所の近くにあってのに、何も知らなかったのだから。考えてみれば箱館奉行所は、人外境と思われていた蝦夷地の玄関口に、北の拠点として十四年しか存在しなかった。桜吹雪の俱利伽羅紋“遠山の金さん”もいないし、資料も少ない(庁舎が取り壊された時に散逸したとか)。そのせいか、この奉行所を扱った小説や歴史書などは、ほとんど皆無に近いだろう。去年だったか、函館中央図書館で参考資料を検索していて、いかめしい古文書に肩を並べて、いきなり『箱館奉行所始末』という“俗な”書名が出て来た時は、何がなし赤面してしまった。

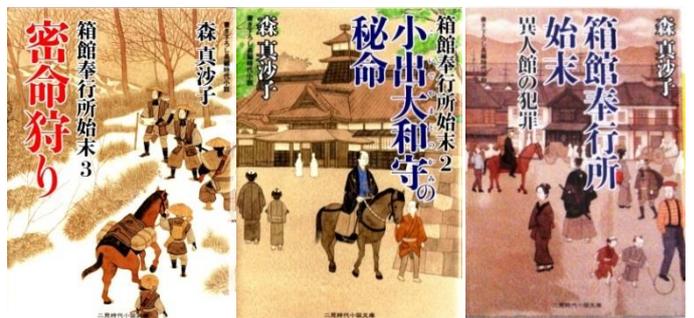
でも調べ出すと、これが意外に面



【箱館奉行所】(明治元年頃、五稜郭内)

白い。自分の家が山ノ上遊郭の敷地にあったとか、西高の下の人幡坂には八幡神社があったとか、八幡様の隣に旧奉行所があった…などと知ると、遠い“歴史”が急に近づいてきて、人の姿が影絵のごとく動き出すように思えてくるのだ。また幕府は、この北の前線基地の奉行に、堀織部正や小出大和守など凄腕の幕臣を送り込んだため、かれらの懸命な奮闘ぶりが見えてくる。だから正直な話、幕末箱館で一押し面白いのは、箱館戦争を有名にした榎本武揚や土方歳三だけでなく、諸外国の異人たちとのぎを削った歴代奉行や、この地で動乱の幕末を生き抜いた、名も無き普通の人々ではないのかも思える。もっとこのシリーズを多くの人の

に読んできたのだ。が、何しろマイナーで、孤立無援の心境にある矢先、つゝじヶ丘同窓会東京支部会報”に一文をとの依頼があり、この場を借りて一筆書かせて頂くことになった。何しろ我々の母校は、旧奉行所跡に徒歩五分の距離である! そのよしみで、まずは読んでみて下さい。もうすぐ4巻『幕命奉らず』が出ます。
*《ウイキペディアより》(もりまさこ、1944年1月4日)は、小説家。神奈川県生まれ。奈良女子大学文学部卒業。1979年「バラード・イン・ブルー」で第33回小説現代新人賞受賞。本名・深江雅子。はじめサスペンス、推理小説を書き、ついでホラー小説、時代小説と作風を変えている。



◆ 投稿

大震災から 4 年、
郡山市からの手紙

稲田 一郎 (14 回生)

早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

あの東日本大災害から 4 年が経ちました。3.11 に、様々な追悼式があり参列してきました。意識の風化、原発事故の風評が言われております。この福島では、未だに 12 万人が故郷を追われ、仮設住まいや他府県に逃れております。更には、“鼻血や甲状腺がん”のことは、科学的考察より人の感情が強調されていると感じます。

福島県は、米や果物、食品の全量全袋検査をし、放射線セシウムが検知されない安全なものを出荷しております。しかし、一部に帰還困難地区があり、未だ高い放射線量が存在しております。しかし、その地区で食糧生産活動があるわけではありません。3 月 1 日に、常磐自動車道が開通し首相が参列しました。最大の利用者は、中間貯蔵施設

へのダンプかもしれません。私も試走しましたが、富岡地区の線量計は 5.4 マイクロシーベルトを表示しておりました(郡山駅前が 0.170)。原発事故時は 34.5 マイクロシーベルトあったそうで、下がったとはいえ高い数値です。これは、この区間を 1 度走るとレントゲン検査時の 300 分の一の放射線量値だそうです。

福島民友新聞に、世界の都市の放射線量が毎日曜に掲載されます。上海 0.59、シンガポール 0.17、ブリスベン 0.13、ロス 0.10、ホノルル 0.08、タンパレ 0.59、ロッテルダム 0.33、パリ 0.10、新宿 0.59、名古屋 0.063、大阪 0.076、広島 0.078 などです。

昨年末に物理学者の早野龍吾が「知ろうとすること」を上梓しました。糸井重里と共著で、新潮文庫 430 円です。彼は原発の専門家ではありませんが、その説明は科学的なアプローチで納得のいくものです。“事故は終息”とする乱暴な意見とは異なり、冷却の現状と廃炉への道筋は、厳しく遠いものがあります。世界の叢智を集め、真の復興への歩みを確



実なものにしなければなりません。今福島には、除染・廃炉技術、再生可能エネルギー、

医療機器、ロボット工学の先端研究・製造が、集中しております。その成果に、希望を持っております。

国・東電は、災害補償の継続を見直すと発言しました。確かに、被害住民の中でも格差が生まれ、住民感情に齟齬も生じております。自ら自立の意識を持つことが必要とする、被災住民の声があります。ある教師の言葉です。『ふくしま創世の物語が、今、始まる。学ぶことこそが、未来を創造する。学ぶことによつて私たちは、未来とつながる。』

さて、郡山に単身赴任 6 年が過ぎようとしております。あと 2 年はここで汗をかきます。この時代にあつて、以前の減収減益の流れを絶ち、この 6 年は増収増益を重ねてきました。3.11 以降も、災害特需と揶揄されながら、地域の皆様に助けられ存在感を強めることができたように思います。F M 福島開局 20 周年を無



安達太良山 沼の平

事に乗り切り、ネット社会の新しい“ラジオ・メディア”を目指します。災害時に安心安全に寄与する、有効な情報を伝えるための、強靱化もテーマです。
この 4 月から、福島デイストネーション・キャンペーンが始まります。北陸新幹線開通の金沢に圧倒されている感ですが、福島の食、温泉、花は、皆様に寛ぎを与えることができます。百々郡山駅長ともども、おもてなしの心でお迎えいたします。郡山はまた、コンベンション都市でもあります。年間 300 件を超える各種の会議、催事も開催されており、地域経済の活性化は、交流人口の拡大によつて花開きます。東京駅から郡山は、新幹線「つばさ・やまびこ」で 80 分です。また、都心から東北道で 240 km、車で約 3 時間半でしょう

か。県内には、安達太良山1,700m、磐梯山1,816m、東吾妻山1,975mの活火山（最高峰燧ヶ岳2,356m）があり、ここ最近地殻変動があるとのニュースがあり、西之島なら領土拡大のロマンがありますが、御嶽山の悲劇は繰り返したくはありません。またスキー場は、猫魔など20ヶ所を超えるのですが、チャイコフスキーとドストエフスキーとウイスキー以外はご案内できないこと、ご容赦願います。取敢えずは、元気でいるとお伝えしたく、お便りといたします。また、お会いして“一献傾け”といきたいものです。そうした懐旧の時を、愉しみにしております。

（2015年3月吉日 郡山にて）

函館への思いと同期会

今 修司（9 回生）

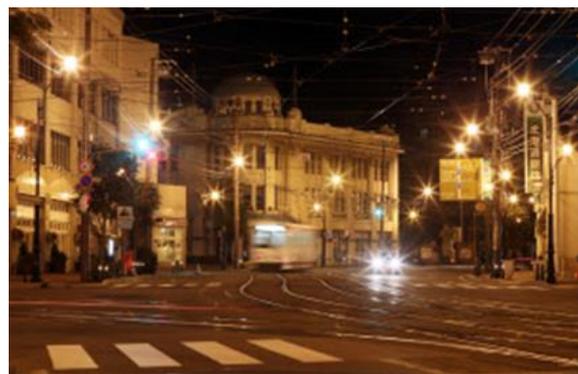
毎年夏が近づくと函館からの嬉しい便りが届きます。それは同期会開催の通知で、心はもう故郷へ飛びます。函館の同期が準備してくれるのです。もう30年以上かな？。函館暮らしより関東の方が長くなったのに、テレビを見ては夜景や魚市



います。

場が出れば嬉しく、観光ラシクに函館が載れば、「ご満足」と家族に冷やかされて

9月24日の日経新聞のトップ記事は、懐かしき「旧丸井デパート」でした。でも「函館の夜景に過疎の間ノ高齢社会と地方の人口減」で、その象徴としての「十字街」でした。青柳小、谷地頭中（汐見）そして西高と丸井の坂を上下し、冬は路上がスケートリンクになり、幼時には丸井の屋上で遊び、食堂でオムライスが何よりのご馳走でした。ちよつと複雑な思いで羽田へ、何と午後の便は満席とのこと、ようやく夕方の方で勇躍向う。夜は早速イカとすしに舌鼓、やっぱり函館。翌日は天気も良く、東京からの同期よりのお誘いで、谷地頭の山の上の料理店で昼食。ほぼ満席に近く美味しくいただきました。夕方から妹夫婦とロープウェイで函館山へ。ここも韓国語か中国語、さらに修学旅行生で満員、「百万ドルの夜景」とは良く言ったもので、歓声があつちこちから。イタリアン風の眺めの良



夜景を彩るオレンジ色の街灯が、人影のまばらな市街地を照らす

いレストランで、料理も美味しかったです。同期会場はロイヤルホテルで、例年より少なく50人が集り、今年の代表幹事堀田さんの挨拶で始まり、宴に先立ち7名の訃報に黙祷、そんな人達の顔が浮かぶ、段々近くなる、さらに実感。でもほんの一時、宴が始まりアルコールが少し入り、懐かしき顔に会うと、現実を忘れて、一気に若返る。出席しなかった同期達のこと、兄弟のこと、孫や病気のことで、八つのテーブルを互いに行き来しながら函館弁が飛び交う。途中で引退してから道東でスキー場を経営して雑誌に載った前多さんから近況報告。十代からの雪山とスキーへの思いを、まだ続けようとする強さに驚嘆、交わることが出来たことの有り難さを思う。あつと言う間に

時間が経過、来年の幹事さんが紹介され、最後は校歌で、声張り上げて「真理を求めて、共に立てよ」。来年は来られるかな？二次会はすぐ向いの「ユアーズ」で、同期がやつているお店。夫妻の人柄からか気さくで温かい雰囲気、それにいつ行っても同期の消息が分かるのが嬉しい。この日も殆どの人に参加、さらにアルコールの密度が上がり童心に。のど自慢が数曲、声が良く出るネエ。九時が過ぎると睡眠が襲う、十時にはダウン寸前、来年またな。良い機嫌で空車のタクシーを横目に大門に向かう。文化堂、ニールック、村井運動具店・・・。両門の建物は何だったっけ、やっぱりさびしいね。翌日の羽田便もほぼ満席に近く、繁閑入り混じり、微睡ながらの帰京でした。

個人の尊厳を大切に、その人らしさをいつまでも...

八王子 特別養護老人ホーム	倍楽園ホーム
岐阜 特別養護老人ホーム	瀬戸の里
函館 特別養護老人ホーム	戸井湖寿荘
岐阜 特別養護老人ホーム	みずなみ瀬戸の里
岐阜 特別養護老人ホーム	ニツ森ホーム

2008年、岐阜の「瀬戸の里」が優良民間福祉施設として天皇陛下より表彰されました。

医療法人社団新谷会 **新谷医院** 東京都府中市朝日町2-30
TEL. 042-361-9419
医学博士 新谷義克 (西高1回生)

◆ 回生だより

27 回生 函館にて開催

この 1 月 3 日、函館にて 27 回生同期会を開催致しました。

函館駅前のロワジールホテル函館にて午後 6 時にスタート。総勢 57 名が集まってくれました。函館および近郊の方が大半でしたが、内地



函館西高等学校 第 27 回卒業生 平成 27 年同期会 平成 27 年 1 月 3 日 (土) 函館 ロワジールホテル

では関西、関東から、道内でも旭川、札幌といった遠方からも参加がありました。スタート前には同ホテル写真室で記念写真も撮影し、それなりに年齢を重ねた顔が並びました。ご覧の通りみなさんいい顔ですよ。

事務局からの挨拶のあと、原子さんの乾杯とともに宴が始まり、高校時代の話しやら近況やら飛び交いました。会場には草苺さんが持ってきてくれた、卒業アルバムのクラスごとの集合写真と前回の同期会の集合写真も掲示し、その隣には、欠席者からのメッセージも掲示したので、その前でも会話が弾んでおりました。

前回は 2003 年の正月開催でしたから、ちょうど干支も一周回ってしまいました。それだけに、懐かしさも一入だったのでないでしょうか。残念なのはその間に亡くなられた方が何人かいらっしやいましたので、元氣な顔が見られなくなったのは本当に残念です。皆様のご健勝を祈るばかりです。

あつという間に時間が過ぎ、関東から参加してくれた宮澤さんの締め御開きに。隣の二次会会場へ。いつまでも楽しい話しが途切れることなくあつと言う間に時間が。本町方面主体の三次会へ。私も途中からあまり覚えてなく、気が付いたらホテルのベッドの中で、朝だったというありさまで、他に迷惑をかけるいないか心配です。いろいろ至らないところもあつ

たと思いますが、ロワジール様のお気遣い、ご配慮も頂き無事終了することが出来、本当に良かったです。何とか次は還暦にと思っておりますので、今回残念ながら出席叶わなかった方も是非参加頂ければと思います。また出席された方も、次回も元氣な顔を見せて下さいね。

(野口 卓史 記)

12 回生、故人を偲んで開催

12 回生東京地区同期会を、去る 2 月 25 日 13 時より、ニュートーキョー数寄屋橋店で開催しました。昨



年 9 月 24 日に逝去した同期会の中核として尽力してこられた学年副幹事村井邦子さんの功績に感謝し、その追悼を兼ね同期会を開催したものです。函館から 6 名の参加もあり 40 名が参集しました。

外岡君が主宰するブルーマウンテンボーイズの追悼演奏もあり、天国の故人を偲びながら歓談し、華やかで賑やかな故人に相応しい、ちよいと洒落た同期会となりました。

二次会は一階のビヤホールに移動し旧交を温め 18 時 30 分お開きとなりました。一部の仲間は、高齢にもかかわらず 3 次会へ流れた元氣な強者もいました。

(最上 龍一 記)

9 回生 第 22 回同期旅行

毎年恒例の春の一泊旅行は 20 名で 4 月 15、16 日に行われました。久しぶりの晴天に恵まれ、気持ちも軽く熱海駅に集合。懐かしい顔が揃い、迎えのバスでラピスタ伊豆山へ向かいました。ラピスタとは眺望と言う意味で部屋からは相模湾が一望でき、キラキラ光る海に心があらわれます。

平成 5 年から始まった一泊旅行も今回で 22 回目となります。そのきっかけは同期会の常連だった友が 50 才前後で 2 人欠け諸行無常を感じ、もつと楽しい思い出を沢山作ろうと云う気持ちからでした。お陰様

で函館からの参加も多くなり、秋には東京からも多くの人が函館の会に出席しています。

夕食を楽しんだ後、幹事室で二次会が行われますが何と言つてもこの時間が旅行の主役ですね。5く60年前の故郷や西高の話で夜は更けていきます。

次の日はウグイスの声で目を覚まし近くの神社にお参りし帰途につき、東京駅向かいの丸ビルにある筑紫楼でフカヒレを堪能しお開きと成りました。来年は世話人(幹事)



の体調次第という事でケセラセラです。(徳田 紀美子 記)

他校同窓会との交流

札幌支部総会・懇親会

広報部 井田幸子(20回生)

世代を超えての交流が同窓会の魅力です。11月8日(土)札幌アスペンホテルに於いて行なわれた「同窓会札幌支部定期総会&懇親会」に出席してきました。

総会は、同窓生41名が出席し、函館から現在の函館西高校長・堂下則昭氏と同窓会会長・中山浩一氏(9回生)を迎え、札幌支部長の浅野元広氏(18回生)の挨拶で開幕。参加者全員が自己紹介をした後で思い思いに親交を深めました。ビンゴゲームで和気あいあいと盛り上がり、応援団長を務める堀田正英さん(24回生)の下、全員が青春の西高時代に戻ったつもりで応援歌に声をふりしぼり、最後は高女と西高の校歌を斉唱して幕を閉じました。

最年長は90歳の守屋香代子さん(高女34回生)、最年少は小山亜以さん(37回生)でした。守屋さんは卒寿を迎えたとは思えぬ若々しさで、ただ一人の高女参加者として高女の頃に思いを馳せながら校歌を斉唱していた姿が印象的でした。守

屋さんと小山さんの年齢差は45歳余り。同窓会に出席する楽しさは、浅野支部長のご挨拶にもありましたが、同輩、先輩、後輩と世代の垣根を超えて交流できることでしよう。

同期生のお姉さんとの出会いや、同窓生を通じて思いがけない先輩との再会も果たすことができました。そんな面白さが同期会とは違う同窓会の魅力だと思います。

白楊ヶ丘同窓会東京支部親睦大会

副会長 高橋順吉(17回生)

平成26年11月8日(土)12時よりグラウンドアーク半蔵門にて開催され、総務部長の三村寿雄さんと出席しました。今回の白楊ヶ丘同窓会は近年にない二部構成となり、第一部が「講演会」で第二部が懇親会でした。講演会は「函館つながり」という題目で二人の講演でした。

一人目が小葉松洋子氏(函館中部高校84期)湯の川女性クリニック院長、二人目が青田基氏(函館中部高校84期)(株)まちづくり五稜郭代表取締役でした。来賓が13名、会員182名合計195名の出席です。

出席するたびに感じることは、高齢の諸先輩の元気さと担当幹事期人数の多さです。第40期の今井清さんは昭和13年卒業の94歳ですが、

声も大きく大変お元気でした。今回も公立4校の二次懇親会を「目黒さんまセンター」で実施しました、東京臥牛会での活発な意見交流の源と思います。

◆事務局活動報告

事務局長 斉藤勝美(13回生)

- 1 第13号会報発行及び発送作業
 - 2 第16回総会・懇親会の準備。
 - ・一昨年末に会場の予約・日時決定。(平成27年5月16日12時より 椿山荘4Fジュピター)
 - ・案内状作成・発送作業(3月9日発送)
 - 3 学年幹事会の開催(2月21日 森下文化センター) 31名の参加。
 - ・平成26年度会計監査報告
 - ・第16回総会・懇親会の計画・予算案報告決議
 - ・任期2年の役員改選期に当たり、全員再任を決定
 - ・同期会への補助金継続
- ① 年一回の補助金(申請書・報告書必要) 5千円
- ② 総会出席後二次会補助金(7名以上総会に出席された回生に1万円・報告書必要)

〔平成26年度 つゝじヶ丘同窓会東京支部 会計報告〕

自 平成26年 1月 1日
至 平成26年 12月 31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰入金	2,923,311		
年会費(振込)	882,510	同期会補助金	35,000
年会費(現金)	106,000	交流費	90,000
本部補助金	30,000	旅費交通費	80,000
広告収入	20,000	会議費	30,646
広告収入(HP)	10,000	通信費	257,838
寄付金	8,000	事務費	19,361
		会報関連費	282,660
預金利息	636	印刷費	38,998
		事務局費	120,000
		HP関連費	151,200
収入計	1,057,146	支出計	1,105,703
		次期繰越金	2,874,754
合計	3,980,457	合計	3,980,457

〔繰越金内訳〕

欄日本郵政 2,837,070円
現金 37,684円
合計 2,874,754円

以上会計事項について監査の結果、適正に処理されているものと認めます。

平成27年1月15日

会計監査 13回生 森 加代子

・会員名簿再整理の件。長期会費未納者または総会不参加者の取り扱いについて、継続審議とした。

4 第14号会報発行準備。
平成27年5月16日発行 A4 16頁カラー

5 学年幹事会後新規に事務局に二名加入。総務担当・安原 秀樹(18)、折田 信一(18)。

●再任された役員(常任幹事)

名誉会長 新谷 義克(1)
顧問 小西 弥生(高女38)、成田 慶子(女高2)、郷内 繁(4)、小嶋 俊昭(10)、若林 英毅(11)

会長 佐々木 太郎(14)、
副会長 堀内 洋子(14)、高橋 順吉(17)

学年幹事会幹事長 竹澤 秀明(17)
副幹事長 佐藤 雅英(18)
事務局長 斉藤 勝美(13)
書記 高村 亨(20)

会計 西山 和子(23)、小林 多美(24)

会計監査 森 加代子(13)
総務部長 三村 寿雄(13)
総務担当 洞田 雅子(14)、青木 保(21)、野口 卓史(27)

広報部長 若林 郁雄(14)
広報担当 井田 幸子(20)、土矢 一如(31)、佐々木 雅子(32)、山越 准司(32)、長谷川 好弘(32)

物故会員

平成27年4月20日までに事務局へご連絡を頂いた物故された会員です。(冥福をお祈りいたします。)

渡辺 久子様(高28)、岩松 栄子様(高39)、松田 テル様(1)、原田 千ヨ様(1)、大柳 弘子様(1)、西野 弘子様(2)、阿部 猛様(2)、佐藤 陽様(3)、米光 啓弥様(3)、山本 修三様(4)、藤野 幸子様(5)、米光 寛司様(5)、岩崎 弘様(5)、若林 哲平様(5)、中野 弘二様(5)、平岡 由紀様(5)、平河 節子様(6)、谷内山 徹様(6)、猪熊 國彦様(9)、篠原 誠様(10)、木村 隆一様(10)、高実 子美智子様(11)、佐藤 禎子様(12)、村井 邦子様(12)、中村 精次様(13)、菅原 秀雄様(16)、井上 文子様(18)、小杉 栄一様(24)。

★同期会開催補助(年一回)

のお知らせ

東京支部では、同期会の活性化を目的に平成24年より、会員が同期会を開催した場合に、開催報告をホームページに掲載することを条件に年一回五千円の補助をしております。既に二桁の回生がこれを利用しております。

補助を受けるには、申請書を提出する必要があります。補助の申請書は東京支部ホームページからダウンロードすることが出来ます。

会員の皆様にお願ひ

東京支部活動の充実のために
年会費(2千円)納入にご協力を

会計報告にありますように、同窓会は年会費と総会・懇親会会費で運営されています。同窓会活動を今後とも維持・活性化していくために、会員の皆様のご支援を宜しくお願ひ申し上げます。

《編集後記》

○今号は「第16回総会・懇親会」の座席表を含め出席者向け編集となりました。大型連休があり、印刷ぎりぎりの4月末日迄の対応で、出欠・キャンセル集計・座席表作成や欠席者メッセージを担当された堀内副会長・斉藤事務局長に謝意!

○また、「支部設立30周年記念」として、現在ご活躍中の10回生で詩人の麻生直子氏、11回生で作家の森真沙子氏に特別に寄稿を依頼しました。大変ご多忙にも拘らず、快くご協力頂き心から御礼申し上げます。

○今号の特徴に、あれから「一〇〇年」、「四年」、「三〇〇年」の数字が語られています。Wordに苦戦していた数日、そして「七〇年」という自分の歳と同じ「戦後」もまた新聞を賑わしております。「振り返ればあれが転機だったんだ」と云うことが無いことを祈っています。

(若林郁雄 14回生)

